

# エクワインファーム

制作者  
◎紗和  
○紗奈

施設・環境「四季の風が味わえる、北海道  
の自然の中で」

『HAYAKITA Equine Farm』では時期によつてさまざまな景色を楽しむことが出来ます。日々の疲れを、乗馬ライフで癒してみたいかがでしょう。クラブハウスでは美味しいドリンクもご用意しております。馬を眺めながら、楽しいひとときを、家族、友人、また愛馬とともに過ごすことができます。厩舎はいつも清潔に保たれ、管理された芝の放牧場、広い馬場など、整った設備の中で競技馬から養老馬までさまざまな馬が楽しくすごせる環境となっております。

## 実績

### 受賞歴一覧

平成20年度全国乗馬指導者大会内国産馬中障害B 2位  
第9回大阪グランプリスプリング大会中障害A 2位  
第9回大阪グランプリスプリング大会 中障害B 1位  
ほかにも、 8位 2回、 7位 1回、 6位 6回、 5位 2回、 4位 2回、 2位 6回、 1位 4回、 1位 が4回もあるというです。



### こだわりの餌と体調管理

アイルランド製 Conolly's RED MILLS 社の餌をベースに、それぞれの馬の体調、運動量に合わせて日々管理しているそうです。



### ☆\*馬具\*☆

『無口頭絡（むくちとうろく）』

馬に乗る時や手入れをする時に使う物で、馬の頭に付ける物を頭絡といいますがその中でも革紐の数が少なく、気楽に付けられる頭絡です。

鼻と喉を通して装着するもので、鼻革・喉革・うなじ革で固定し、頬革で繋がっています。これに紐を付けて、馬を引いたり固定したりします。



### 『鞍（くら）』

膝当、腹帯、鍔（あぶみ）、桶（きょう。いわゆる椅子。）が一体となった馬具の中でも基本中の基本です。背中に乗せ、右から左へ腹帯を回して、左端で



固定します。

### 『水勒（すいろく）』

無口頭絡に銜（はみ・くつわ）と手綱を付け、各部位を補強した頭絡です。



## 障害飛越とは？

障害飛越競技は他の馬術競技と同じく、人馬単位で出場するため、騎乗する馬の調教も競うことになる。ただし、自分の馬を所有していない初心者のための競技として、開催者側から馬を貸与する方式がとられることもある。この場合は対戦する相手同士が同じ乗馬を使用することになる。競技形式はいくつかあるが、基本的に採点は減点方式で行われる[1]。障害に触れるなどしてバーを落下させたり、障害を壊した場合は減点4。馬が障害を避けたり（逃避）、障害の前で停止してしまったり（拒止）、騎手の意図に反して勝手に円を描くように回ったり後退したり（不従順）した場合は、反抗として減点4。反抗が2回（日本国内ローカルルールで3回）で失権。タイムを計測するが、規定タイムを超過した場合には、通常4秒ごとに減点1。落馬したり、馬が転倒したり、障害の順序を間違えて飛越したり（経路違反）した場合は失権。減点数が等しかった場合には、障害の難度を上げて決勝戦を行うジャンプオフを行ったり、タイムの早い方を勝者とするなどで順位が判定される。

## 馬場馬術とは？

馬場馬術の演技は、定型の馬場で、1騎ずつ行われる。定められた経路により、例えば「C点からS点でパッサージュ、S点からK点で伸長速歩、K点から再度パッサージュ」といったように定められた歩様（歩法）、歩度、運動課題で図形を描いていく、フィギュアスケートの以前の規定のような種目と、所定の課題を音楽に合わせて自由に組み合わせて行う自由演技（フリースタイル、キュア）とがある。オリンピックやワールドカップなどでは、団体は規定（グランプリ）のみ（個人の子選をかねる）、個人は規定（グランプリ・スペシャル）および自由演技（グランプリ・フリースタイル）の双方で競われる。全日本馬場馬術大会では、グランプリのほか、より競技難易度の低いインターメディアイトI馬場馬術競技、セントジョージ賞典馬場馬術競技などの競技も「全日本」のタイトルをかけて競われている。それぞれの運動課題を調和を保って正確に行うだけでなく、馬が活発な前進氣勢を保ちつつ緊張感なく従順、柔軟に運動を行っており、騎手の意のままに従いつつも、ごくわずかな扶助[2]に応じている結果、あたかも馬自身の意思で運動しているかのような印象を与えることを求められる、人馬一体の競技である。「ドレッサージュ（dressage）」は元はフランス語で、調教を意味する。高等な馬場馬術は、曲芸を仕込むように運動を記憶させるだけでは行うことができず、馬体の背中など必要な場所へ柔軟な筋肉をつけ、脚を中心として関節の可動域を大きくしていく必要がある。これには数年間にわたる入念な調教が欠かせず、競馬では2歳馬競走などもあるところ、オリンピックなどでの上級馬場馬術は8歳馬以上でないと出場資格を得られない。

やながわさんの話

牧場には全部で約三十頭ぐらいいて牧場にいる馬はほとんどおとなしい。

北海道の馬は競走馬になってヨーロッパから輸入された馬は乗馬になるそうです。